



みなみの風

あいさつ・つたえあい・チャレンジが自慢
～優しい言葉があふれる坂下南小学校～

「節目」で伸びる子ども達 ～「チャレンジする力」(チャレンジ)を育てる～

節分の際に2年生が書いた、追い出したい「心のおに」です。どのコメントからも、よりよい自分になりたいという気持ちが伝わってきます。日本には、新年をはじめ、節分(立春)や節句、新年度など「節目」を大切にす文化があります。節分をきっかけに、自分を見つめ直し、目標を立てた子ども達。心のおにを追い出して、一回り成長していくことを期待しています。



【KIさん】
一人の友達に固執するのではなく、いろいろな友達と遊んで、気分を変えようと考えるところが素晴らしいです。これからは気にしすぎおにを追い出して、楽しく過ごせそうですね。

【AKさん】
いやなものから逃げずに、チャレンジしようとする気持ちが素晴らしいです。「チャレンジする力」がどんどん高まっていくことを期待してきます。



「一秒の言葉」を大切に ～「人を大切にする力」(あいさつ)を育てる～

「一秒の言葉」

小泉 吉宏

「はじめまして」

この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることがある。

「ありがとう」

この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」

この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」

この一秒ほどの短い言葉で、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」

この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」

この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

一生懸命、一秒。

人は生きる。

これは、童話作家、小泉吉宏さんの詩です。普段何気なく使っているこれらの言葉こそ、大切にしたいものです。「こんにちは」「おやすみなさい」「すばらしい」「すてきだよ」「うれしいよ」など他にもたくさんあります。

真心のこもった優しく温かい言葉は、人を幸せにします。

本校の教育目標の「美しい生き方を考える子」(人を大切にする力)に通じるものであると考えます。ぜひ、ご家庭でこの詩を話題に、言葉の大切さについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

※ SEIKOのCM動画(YouTube)で見ることができます。